

2021年がスタートしました！本年もよろしくお願いたします

職員のみなさまには、引き続きコロナ対策・感染予防にご尽力いただくこととなりますが、ご協力のほどよろしくお願いたします。



飛鳥ともしび苑 おせち

1月6日(水)飛鳥ともしび苑で提供されたおせちです。
お味、彩りともに良く、ご利用者さんや職員の毎年の楽しみになっています♪



100歳のお誕生日おめでとございます！—特養ともしび—



<ご家族様、職員と共に記念撮影>

1月20日(水)は特養ともしび入居者さまの100回目のお誕生日でした。

感染症対策を万全に、100歳という特別なお誕生日をご家族様と共に、心をこめてお祝いさせていただきました。
パースデーソング、あたたかいメッセージ、笑い声に包まれ、ほっこりとしたとても素敵なお誕生日会になり、短い時間ではありましたが、百寿と言う大変おめでたい節目をお祝いさせていただいたこと、とても嬉しく思います。

これからも毎日楽しくお過ごしください(*^^*)



お誕生日おめでとございます！
職員からもプレゼントをお渡ししました(^-^)
気に入ってくださるでしょうか(*^^*)

職員インタビューコーナー

福祉の仕事をするようになったきっかけ 自分の中の理念

大学在学時に東京の人材派遣会社の内定をもらっていて、福祉の仕事に就くとは全く思っていなかったです。
ですが、その当時母の体調に不安があり、東京に行って離れて暮らすのではなく地元で働く、という選択をして内定を辞退しました。
すでに2月に入っていたのですが、大学の就職課に相談して飛鳥ともしび苑への就職に繋がったことがきっかけです。

1年目の気持ち、フレッシュな感覚を大切にしたいです。「初心忘るべからず」ですね。
3年目を迎え、業務もわかってきて自分で取捨選択もできるようになり、価値観も固まったように思います。
人それぞれ違う価値観を尊重し合いながら、バランスをとって業務に携わることを大切にしています。



飛鳥ともしび苑グループホーム介護職員 武村 叶太さん

実際に福祉の現場で働いてみて

認知症状の知識もなかったですし、褥瘡やグループホームの意味さえきちんと理解できていなかったところからのスタートでした。
1年目は毎日がぶっつけ本番で、その日を凌ぐことで精一杯でしたね。
1日の仕事を終え、就寝し、翌朝目覚めると全身筋肉痛の日々…(;^ω^)
「やりきった」という達成感はありませんでしたが、1年目の記憶がないです(笑)

チャレンジしてみたいこと

新しい企画を考えています(^-^)
普段のご利用者さんの外出は静かな公園などが多く、癒しになっていて良いのですが、一方で梅田のような都会へお連れしてどのような反応をされるか、どう楽しんでいたかやってみたいです。
普段は感じない都会特有の空気感、高層ビル、様々な音や人の多さなどを体験していただくと、良い刺激になるかもしれません。時期を見て、実現したいです。

ぶつかった壁と、その後

入職半年でご利用者さんが危篤状態になり、経験がない中で周囲の職員の指示を受けながら動きましたが、その後お亡くなりになりました。
その時「どうしてあげたらよかったのだろう」、「何も間違っていない。けれど、これが正解である、といった明確なものもない」という部分に難しさを感じました。

未来の自分

新人に質問されたらすぐに答えられる先輩でありたいです。
また、新人を指導する立場になったら、1年目の新人だからこそのいい意見を否定せず、経験してわかった違う方面からのアドバイスとうまく融合させて指導できるようになりたいです。

この経験から、常に「ベストは何か」を意識して仕事をする事、職員間で積極的に話し合い、時にはぶつかりながらも多様な意見を取り入れ続けることの大切さに気が付きました。
また、個人でできることとしては知識が不足しているところは先輩に聞いてメモを取って、その後自分でも調べて対応する、うまくいかない時はまた聞いて…を繰り返して経験を積み、力をつけていくことを意識しています。